

# 埼玉連だより

令和4年5月31日

第  
**69**号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

## 弓を学ぶ心

会長 本橋民夫

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の為、東京五輪が無観客で行われる等、国内外の各種事業の多くが制約を受けて行われました。

全日本弓道連盟においても多くの事業が中止、延期、規模縮小等の制約を受けました。全日本弓道大会、全日本勤労者大会、国民体育大会は中止となり、全日本選手権大会（遠的、近的）は規模を縮小して行われました。

中央審査会は、特別臨時中央審査会として地域を分けて行われ、埼玉県弓道連盟会員は、茨城、栃木、群馬、埼玉を対象とした【関東北地区】の審査会を受審することになりました。その審査会は、埼玉県を会場として6回行われ、その運営のために多くの会員の皆様方にご協力をいただき、深く感謝いたしております。

今回の審査会は新型コロナ対策要員も配置しましたので、1射場につき17名の運営委員で対応しました。6回の審査会は土曜、日曜又は2会場で行われたので、延べ204名の皆様にお手伝いをさせていただきました。個人的にはいろいろと都合はあったと思いますが、本審査会の運営を優先して積極的に協力し、数度にわたり運営委員を引き受けてくれた方もありました。協力してくださった会員の皆様はみな熱心にそれぞれの業務に専念し、すべての審査会において問題もなく円滑に運営することができました。誠にありがとうございました。

仕事を依頼すると、その人の人柄、人間性というものがよく見えてきます。お願いした要件をよく理解し、自分なりに判断して、こちらが予想したことをはるかに超えて、200%の仕事をしてくれる人もありました。また、目立たないところで脇目も振らず一心不乱に会場の準備を行う人もいました。まだ足りないところはな

いか、どうしたらより良い運営ができるかと自分なりに考え、仕事を探す人もいました。受審者に気持ちよく受審してもらうために、更に良い方法はないか等考え、備える人もいました。無心で物事に向き合い、徳を積む姿を垣間見た気がしました。

「弓を学ぶ」ということは、単に技術を学ぶだけではなく、道徳を学ぶ、生き方を学ぶということだと思います。普段の稽古の際に、これらの人たちは、単に技術的な弓道を学ぶだけではなく、道場でのあるべき姿、人としてのあるべき姿等を学んでいることと思いました。

ラジオで「この国ではお茶も、お華も、弓もどうして道になるのでしょうか。」というコマーシャルをしていました。わが国では、習い事をすることによって、道、即ち道徳、生き方を学んでいるのです。

江戸時代寺子屋では「読み、書き、算盤」を教えていました。そこでは単に知的な学習だけではなく、心の教育、人格の教育がなされてきました。一方、技術の習得は徒弟制度と呼ばれ、これも、単なる知的・技術的な習得に終わらず、主人の家に住み込み、日々の生活、行儀・見習いなど人格を身に付けていきました。知識・技術と人格が一致して初めて学習や習得が成立したのです。ラジオのCMで「この国ではお茶も、お華も、弓もどうして道になるのでしょうか。」と言っているのはこのようなことだと思います。これが日本の文化だと思います。

今回の6回の特別臨時中央審査会の運営を通じて、会員の皆様が弓を学ぶとはどういうものか、ということをしつかりと肝に銘じて稽古をされていることを理解いたしました。皆様、ご協力誠にありがとうございました。



# 専門委員会だより

## 総務委員会

### 長寿に思うこと

総務委員長 竹内せき子

この4月、長寿賞受賞された皆様、誠におめでとうございます。

今年度の受賞対象者は傘寿 37 名、米寿 12 名、白寿 1 名、合計 50 名でした。(P4 参照)

今年度から IT 事務所にて、全弓連会員管理システムのデータを用い、80 歳、88 歳、99 歳それぞれに抽出を行い、担当される方に報告をすることに致しました。

「業務提要」の表彰規程 (3) 長寿賞によるとア、会員 (15 年以上継続加盟) が年度内に以下の年令に達するとき。

傘寿 80 才 米寿 88 才 白寿 99 才

イ、長寿賞受賞者は、受賞年度から会費を減額する。

ウ、会長が認めた場合、会費を免除することが出来る。

とありますが、この内容を知らない人も多く、また継続して 15 年経っているか不明であるとの内容からです。

ここで、3 点付け加えますと

1、新年度が始まり、まもなく表彰されます。例えば傘寿受賞者のほとんどは未だ 79 歳です。なので、来年ではないのか・・・と思われるかもしれませんが、その年度内 (4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日) までに 80 歳になる人が対象となります。

2、入会して 15 年以上継続加盟であること。入会して、途中一度退会 (未納) されますと、リセットされてしまい、再入会の年からスタートとなります。

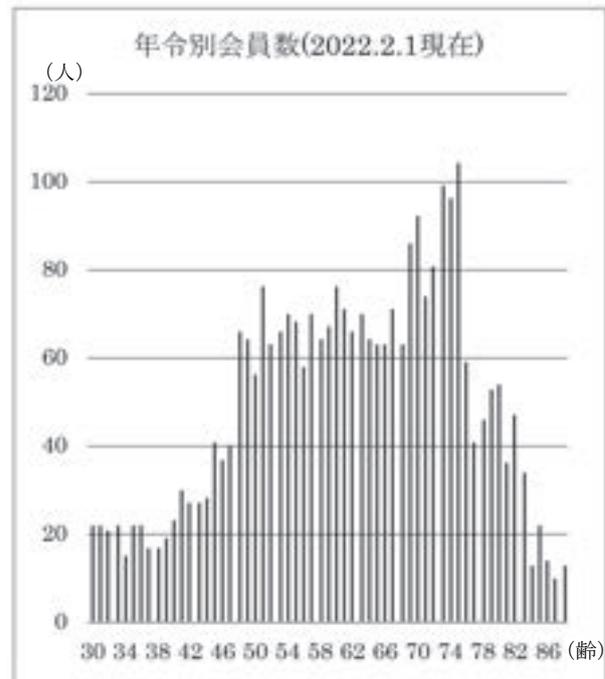
例えば 80 歳になる前年度に、入会から 14 年ですと残念ながら次の受賞は、米寿 88 歳であることも意外と知られていません。

3、受賞されたその年度から、会費は減額されます。

受賞された翌年からでしょ?と、そう思い込んでいた会計担当者もおりました。

以上、長寿賞について解説させていただきましたが、お分かりいただけましたでしょうか。

下記の棒グラフは、埼玉県弓道連盟の 30 歳から 88 歳までを対象とした会員構成図です。



驚くことに 75 歳の 104 人をピークに、48 歳の 66 人までは緩やかに減少しているものの、高い数値となっており、全体の約 3 分の 2 を占めていることが判明しました。

これは埼玉連だけではなく、全国的な傾向にあると考えられます。

いわゆる第一次ベビーブームに生まれた人達が、70 歳から 75 歳に達して、弓道界の発展を担っているといっても過言ではないでしょう。

また一方では、5 年後の長寿賞受賞者が 100 人を超える事態になることも視野に入れ、長寿者の会費減額見直しや、いろいろな事態に備え、考えを巡らす時期にきているのでは、と思った次第です。

#### ☆最後に IT 事務所からのお願いです。

会員の皆様の正確な情報があってこそ、審査や競技、講習会等に役立てることが出来ます。

この春、引っ越しなどで住所等が変わりましたら、その都度、担当者にお知らせ下さい。

いつも総務委員会の活動に、ご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

# 指導委員会

## 今年度指導方針

委員長 飯島千代子

昨年度はコロナ感染防止のため、受講人数制限を行いながらの県連講習会でした。講師2名に対して受講生30～40人が限度の講習会は、感染防止意識も高く、向上心も高く意義深い内容で各回とも行われたと思っております。

今年度も県連の感染防止のガイドラインに沿って、人数制限を行いながら事業計画のとおり講習会を開催いたします。

### 今年度指導方針

1. 「射法射技の基本」に徹する  
基本の5項目（特に基本体型）が重要
2. 「基本体の必要性」の実践  
動作の注意点8項目を習得する
3. 高段者においては、更なる射品射格を高める努力を怠らない
4. 射技のみではなく、長幼の序等精神面の意識を高める

講習会では、細かいことを指導しすぎるのではないかとの意見があります。高段者になると自分の築いた考えで個性も出てくると思います。

しかし、低段者は細かい指導を受けた箇所についてその時はとてもやりにくいと思いますが、工夫稽古しながらやり遂げてください。

そして体配は何故必要なのでしょう。的中さえすればよろしいのでしょうか？道場に入った時、また、射位に立った時の気構え、体の構えが大切です。執り弓の姿勢で構えを作り、大きく吐く息を丹田に納めることを、それから先に行う動作すべて崩さないことです。常に上腕三頭筋は緩めず、丹田呼吸することです。体の軸がどの動作においても崩れない体配ができれば、射に繋がり基本体型がかなうと思います。丹田呼吸により息を止めないで縦軸をしっかりさせ、外は固めないで、体を体育的に大きく使うことを目標に、今年度の指導方針に沿った指導をしたいと思っております。

よろしく願いいたします。

# 競技委員会

## 今後に向けて

委員長 市川政子

会員の皆様には日頃よりご理解ご協力を頂きましてありがとうございます。

### ●12月5日 武道大会

参加：各支部一般男女のみ 県央支部が優勝

### ●1月9日 新年初射会

参加94名 巻藁射礼・矢渡・一つの射礼・昇段昇格者披露、そして今回は一手祝射会として実施。

### ●3月6日 第69回全日本勤労者選手権大会

埼玉県予選会 参加6チーム

6月中央道場で開催される本大会出場チームは所沢市役所B、ホンダ埼玉Bと決定。そして前回優勝ホンダ埼玉Aチームです。

### ●3月13日 オンライン全国弓道大会

選手は国体・関東選抜選手権大会候補選手の中から選出しました。残念ながら予選通過はなりませんでした。

長期に渡るコロナ禍でメンタルが落ち込んでいる・大会に参加出来ず日々の練習の成果を發揮する場がない・楽しくないと感じている方、道場の利用制限等で、思うように練習が出来なかった方もおいでになると思います。しかしながら、練習を止めない・諦めない事が大切だと思います。前向きに理想や目標を掲げ、そこに近づくには何をどうして行けば良いのか、等考えながら練習に取り組んでいただきたいと思っております。弓を引ける事を日々楽しみに、また感謝したいものです。

新年度もこれまで同様引き続きコロナ感染対策をしながら感染予防に努め、参加人数の制限等規模を縮小しての大会運営になると思っております。

令和5年7月に開催される国体関東ブロック大会の役員をお引き受けいただいた皆さまありがとうございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

# 国体選手強化委員会

## アンチ・ドーピングについて

委員長 古泉利昭

弓道におけるドーピングについて全弓連より情報提供がありました。委員の皆様にも関心を持っていただきたい問題としてご紹介させていただきます。

### 〔弓道競技にも関係する 2022 アンチ・ドーピングの情報提供〕

2022 北京冬季オリンピックで、ドーピング問題が連日報道され、世界の注目を集めました。一般的には体内から禁止物質が検出されれば、アスリートやサポートスタッフ（指導者、コーチ、チームドクターなど）は制裁の対象となります。

弓道は、ドーピングは関係ないと思う方が大半だと思いますが、今や武道競技を含むスポーツ全体がドーピングのないクリーンでフェアなスポーツであることを証明するため、ドーピング防止に取り組む必要があります。

今年も1月1日に世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) 2022 禁止表国際基準が更新されました。昨年からの大きな変更はありませんが、細かな変更がいくつかありますので、個々の薬については**飲む前、使う前に専門家に確認**してください。

なお、昨年、世界アンチ・ドーピング規程 (CODE) が6年ぶりに改訂され、**違反項目が増え、アスリートの役割と責務が増えています**。

日本人がドーピング違反になりやすいのは、**①市販の風邪薬や鼻炎薬、②葛根湯や麻黄湯**などです。また2021年4月から、**③口内炎治療薬**などが**競技会時**\*使えなくなりましたので特に注意してください。

【①メチルエフェドリンやプソイドエフェドリン ②生薬の麻黄を含む ③アフタゾロン、アフタッチ、ケナログなど、いずれも禁止薬物指定もしくは禁止薬物が含まれるものが数多くある。】

※**競技会時**とは、「競技者が参加する予定の競技会の前日の真夜中（午後11時59分）に開始され、当該競技会及び競技会に関する検体採取手続きの終了までの期間」。

今年の「いちご一会とちぎ国体」では、弓道はTUE 事前申請競技に指定されています。あなたが自身がドーピング検査対象となり、検査が実施される可能性が十分あります。

国体選手で禁止物質を含む薬（インスリン、副腎皮質ホルモン剤など）で治療する必要のある方は、国体の30日前までに TUE（治療使用特例）申請が必要です。

以上、原文のままご紹介しました。

### 令和4年度 長寿賞受賞者

白寿 1名  
小川 久

米寿 12名  
柿沼道子 森谷秀哉 永島利一 宮岡勘二  
吉田眞吾 森山良知 三浦宣之 伊藤マツヲ  
中野昭三 松澤利次 石山美穂子 須永猪喜知

傘寿 37名  
高島美智子 町田昭代 戸塚藤代 金井文男  
塚越英三 寺崎正道 鎌塚宏紀 外園孝二  
大谷直子 新島繁子 小林次雄 稲垣美樹子  
高橋好照 伊藤博之 坂本 恵 塚田 浩  
有馬五生 牧内洋子 田口靖博 永島マサル  
五十嵐宣子 鷹巣光子 中國防子 小野田晃夫  
岡田義助 倉林佳子 池田浩次 高橋俊江  
渡邊徳雄 海老名玄 太田明美 坂本良雄  
水岡 勇 吉澤武幸 秋山正宏 成瀬秀利  
他1名

(順不同)



画・松本 正

# 審査委員会

## コロナ禍での審査会運営について

委員長 齋藤安次

平素からコロナ禍における審査会にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

過去2年間にわたり新型コロナウイルス感染防止対策（コロナ対策）を講じて審査会を実施しましたので、その運営方法と実施結果を整理して紹介します。

2020年当初より始まった新型コロナウイルス感染が社会的関心事となり、感染しない／させないための行動様式が多数発出されました。

埼玉県弓道連盟が主管する地方審査会では、基本的な感染対策として「入館時の体温測定」「3密を避けるための換気・入場制限」「手洗い消毒管理の徹底」「行射時以外でのマスク着用」などを厳守するほか、様々な工夫をして対応してきました。

結果として審査会から感染者を出すことなく実施することができました。

### ● 地方審査会での運営の試行錯誤について

基本的な感染対策は全ての審査会で遵守しましたが、埼玉県弓道連盟としては更に厳しいルールを取決め運営しました。

- ・健康管理チェックシートは1週間前から体温を記録して当日受付に提出する。
- ・受審者と対面する役員はフェースガードを着用する。受付・進行係員など。
- ・受審者の物を触る場合はゴム手袋をする。弦切れ、矢こぼれ及び矢返し等の対応係員など。
- ・受審者控室はソーシャルディスタンスを1m以上空け、部屋のドアは2カ所以上空ける。
- ・人の動きが交差しないようできるだけ一方通行・交互通行になるようルートを決める。
- ・運営役員及び審査委員に対する接遇は一切なくし、弁当代等の手当を支給しました。
- ・受審者等へのお願いはブラカード等を使用して会話を少なくする。

### ● 高校生対象のビデオ審査会について

初めてのビデオ審査会は2020年6月に学校へ要項を通知し、その後2か月後に審査委員の自宅でビデオ審査ができる環境を整え9月5日から3日間で実施しました。受審者数は968名

でした。2回目は2021年5月に4日間で実施し、受審者数は925名でした。3回目は11月に3日間で実施し受審者数は625名でした。

2年間で延べ2,518名が受審していただき、2,274名の合格者を輩出しました。

ビデオ審査会のメリットは、感染防止対策の手法としては効果的な方法であること。また、役員手当・交通費・施設使用料が不要なため経費削減になるなどがあります。デメリットとしては撮影機材及び映像データ作成技術で学校間格差が大きいことから、審査対象の映像品質にバラツキがありました。また、審査委員がビデオ映像で行射審査をすることに慣れていないことから対面審査に比べて疲労度合いが大きいことが分かりました。

このデメリットを解消するためには、撮影機材（カメラ・照明・編集ソフトなど）の貸し出し及び撮影者を派遣するなどの対応をして、映像品質を安定化をさせることと、見やすいモニターの提供が必要になると思われます。

### ● 2020年度地方審査会について

相次ぐ中止の案内と審査料の返金作業に追われる日々でした。会員からは審査を実施して欲しいとの要望が多く、委員会でアンケートを実施した結果、四段以下645名、五段187名の受審希望者がいることが分かりました。全弓連から密集を避けるため一射場130名以下にするよう指導されていたので、四段以下は5射場、五段は2射場で計画しました。また、3会場に分散した地域（上尾・日高・熊谷）開催に向けた準備もしました。開催会場に近い受審者と射場当たりの人数均等化のための最適化プログラムを作成し、申込者の確定後に即時会場割り振りができるようになりました。

### ● 2021年度審査会について

2021年度は会場が使用できない場合を除いて計画通り実施する方針に転換しました。

コロナ対策を最優先に考え運営体制を強化しつつ、審査種別毎に各3回の実施計画を立てて推進してきました。しかし、年度途中でコロナ感染の緊急事態宣言（1回）と、まん延防止等重点措置（2回）が発出されました。そのため5回の審査会を延期することになりましたが、関係各位のご協力を頂き、年度計画全ての審査会を実施することができました。

# 女子部

## 新年度の女子部活動について

女子部長 松澤かおり

受審者数（延べ人数）の結果は、地方審査会では2,676名、五段では532名、特別学生15名、中央審査（県内）では883名で合計4,106名の受審がありました。コロナ禍前の2019年度と比較すると973名（23.7%）の減でした。

一般初段の受審者数が3分の1以下に落ち込んだことは、新入会員の減少かと思われます。

### ● 2022年度の審査会計画について

地区別特別臨時中央審査会は廃止され埼玉県主管の中央審査会はなくなりました。そして全国各地で開催される中央審査会に申し込みが可能になります。

連合審査会は（3県、埼玉・栃木・群馬）は従来通り持回り開催します。また、全国各地で開催される連合審査会に申し込みが可能になります。

地方審査会は「令和4年度地方審査会の実施要領」及び「注意事項」に従って開催します。全ての審査会はコロナ禍での運営方式（①開会式なし、②時刻指定受付、③結果は後日発表、④学科試験は事前のレポート提出）とします。

### <質問の多い内容>

- ・審査申込書は必ず指定の様式を使用する。  
黒のボールペン又は万年筆を使用する。  
用紙はA4サイズに限定する。  
用紙の色は白とし、白色度は問わない。  
元号による年を記載する。西暦は不可。
- ・学科問題は「令和4年度埼玉県地方審査会 学科問題」の表中より、各回指定の段位別問題（問1、問2）のレポートを提出する。
- ・学科試験のレポートは県連指定のA4用紙（2ページ）を使用して1問1枚で記入する。
- ・学科レポートは審査申込書に添えて提出する。
- ・書き方は読み易く楷書で丁寧に書く。筆記具は鉛筆又はボールペンどちらでも良い。
- ・行射の要領は全弓連指定の「審査における行射の要領」にしたがって実施する。受審者数が多い場合、早い間合い（弦音打起し）で実施する場合がある。その時は予め事前通知を行う。高校生は全て早い間合いで実施する。
- ・健康管理チェックシートはコロナ感染が終息するまで続ける。
- ・第4回部活顧問対象の審査会と連合審査会は別途要項を発行する。
- ・年度内のビデオ審査会は採用しない。

日頃より女子部の活動にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

2020年3月にWHOより新型コロナウイルス感染症がパンデミックの状況にあると表明されてから3回目の春を迎えました。このいわゆるコロナ禍の下、埼玉連では様々な感染防止対策を講じながら感染拡大の波の状況に応じて少しずつ事業を実施してまいりました。女子部の活動も一昨年は担当している二つの大会が中止となったため、ほとんど活動が出来ませんでした。

昨年は規模の大きな東日本女子大会は中止となりましたが、11月に予定しておりました埼玉連女子部弓道大会はコロナ禍における審査会や競技会の実施のノウハウを見習って「コロナ禍における女子大会の手引き」を作成し、それに沿った形で女子大会を開催することが出来ました。今回は感染防止のため運営は女子部委員のみが専任で担当するため、100名程度の超規模の大会を想定しておりましたが、ワクチン接種が進んだこともあり予想をはるかに上回る191名の参加申し込みをいただき、申込者全員にご参加いただくために、部門ごとに受付から表彰までを終了させてからの入れ替え制とし、極力密の状況を作らないようにいたしました。例年と余り変わらない大規模な大会となるため、女子部一同気を引き締めて運営に当たり、また参加者の皆さまのご協力により感染者を出す事なく無事に終了することが出来ましたことを心より感謝しております。

今年度は、東日本女子大会は早々に中止が決定いたしました。埼玉連女子大会は昨年と同じ形式での開催を予定しております。例年は秋に開催しておりましたが、今年は大宮公園弓道場が修繕のため10月から3月まで使用出来ないことにより県連行事が県立武道館に集中し、その影響で女子大会の日程が大幅に変わることになり、今年度は7月24日に開催する予定となりました。いつもとはちょっと違った夏の女子大会を楽しんでいただけたらと思っております。どうぞご協力の程、よろしく願いいたします。

# 高 体 連

## 令和3年度後半を振り返って

委員長 坂本 修

日頃より弓道連盟の皆様には、高体連弓道専門部の活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナが収束しないままこの1年が過ぎようとしています。一部の大会が中止にせざるを得なかったものの、何とか乗り切ることができました。これもひとえに選手や補助役員のみなさん、顧問の先生方のおかげです。厚くお礼申し上げます。

令和3年度後半も、本県選手が県外大会で活躍してくれました。12月に茨城県水戸市で開催された全国選抜大会において、男子団体で川越高校が第3位に入賞しました。また、3月に山梨県甲府市で開催された東日本大会においては、女子団体5人制で、東京成徳大学深谷高校が準優勝、男子団体5人制で川越高校が第3位に入賞いたしました。特に川越高校においては、関東大会優勝をはじめ、全国選抜、東日本と3つの上位大会での入賞となりました。1年でこれだけの入賞は中々できるものではありません。恐らく、日頃の努力は並大抵のものではないと推測します。川越高校選手・指導者の頑張りに敬意を表します。

今年度は、令和5年に本県にて開催を予定しております第67回関東高等学校弓道大会の準備を進めなければなりません。新型コロナの状況が不透明ではありますが、なるべくコロナ前のような開催ができるよう、綿密な計画を立てていきたいと考えております。

また、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が令和5年度より段階的に実施されます。今のところ目立った動きはないものの、今年度中には最終提言がまとめられるので、その動きに注視する必要があります。

最後になりますが、新型コロナが1日も早く収束することを願いつつ、安全な競技運営を遂行したいと考えております。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

## <大会結果>

### ●県民スポーツ大会兼新人大会

令和3年10月2日(土)3日(日)

男子134チーム417名

女子141チーム440名 大宮公園弓道場

○男子団体／①市立浦和A(猪瀬 晃、小俣界渡、石川陽雲、吉村優杜)、②深谷第一A(高田凌晟、吉田大地、前原伊吹、尾高翔輝)、③川越A(浜野隼輔、太田将哉、高河勇太、今村聡志)、④大宮東A(森田涼介、福田優輝、中島叶羽、黒木 心)、⑤浦和A(坂田和也、加瀬桜大、野中李十、樋口聡太)、⑥滑川総合A(石村晃己、岸亮太朗、金井颯汰、小川莉駆)、⑦東農大三A(加藤千尋、木村龍馬、池田剛大、橋本 岬)、⑧大宮南A(畠山稜央、加瀬孝太朗、大島剣也、重政颯良)

○女子団体／①成徳深谷A(大澤綾子、松元美幸、大野朱緒、松本佳暖)、②大宮光陵B(海老原杏奈、佐藤帆菜、山下璃子、高堂桜佳)、③越ヶ谷A(及川菜里、中畝遥香、梅下愛優乃、中嶋梨乃)、④草加西A(浅野 睦、角田陽菜、菊地優里那、熊田美桜)、⑤入間向陽B(河内樹里亜、榊原加恋、井手杏紗、齊藤未奈)、⑥坂戸西A(北島 花、山岸佳世、清宮有莉、細田さくら)、⑦栗橋北彩A(小池舞美、高橋杏実、武蔵穂乃花、中村羅緒)、⑧伊奈学園B(宗像爽音、林 由羽、村山明里、岩谷美佑)

※男女各1位～3位が東日本大会に出場

○男子個人／①加藤千尋(川越初雁)、②筒井心也(秩父)、③加瀬孝太朗(市立浦和)、④小野健一(滑川総合)、⑤渡邊啓太(秩父農工科学)、⑥田島 尊(正智深谷)、⑦猪瀬 晃(東農大三)、⑧岸亮太朗(春日部東)、⑧浅見駿介(大宮南)、⑧花井貴洸(星野)

○女子個人／①金子琉乃(桶川)、②竹林三織(浦和実業)、③及川菜里(越ヶ谷)、④海老原杏奈(大宮光陵)、⑤森山晴奏(浦和一女)、⑥菊地優里那(草加西)、⑥松本美咲(寄居城北)、⑧梅野怜実(正智深谷)、⑧本橋優愛(伊奈学園)

### ●県高校弓道選手権兼全国選抜県予選

令和3年11月6日(土)、7日(日)、13日(土)

女子146チーム448名

男子138チーム431名 大宮公園弓道場

○女子団体／①坂戸西A(山岸佳世、清宮有莉、石岡由衣子、北島 花)、②伊奈学園B(中根楓花、林 由羽、村山明里、富樫春菜)、③浦和一

女A(森山晴奏、柳澤優衣、鈴木菜々子、前中彩織)、④坂戸西B(高坂桜空、橋爪愛結、細田さくら、宮崎里奈)

○男子団体／①川越A(浜野隼輔、太田将哉、高河勇太、寶田蒼良)、②本庄A(神岡倅大、渋谷航暉、岡田快翔、佐藤海斗)、③慶應志木A(荒木陽向、西村優一朗、立花洋陽、稲垣志堂)、④深谷第一A(高田凌晟、吉田大地、前原伊吹、大谷 匠)

※女子は1位、男子は1、2位が全国選抜大会に出場

○女子個人／①森山晴奏(浦和一女)、②森川樹梨(草加西)、③梅野怜実(正智深谷)、④田村爽月(大宮)、⑤堀田操青(所沢北)、⑥高坂桜空(坂戸西)、⑦中村咲月(入間向陽)、⑧金子日南(羽生第一)

○男子個人／①加藤隼佑(秩父農工科学)、②前原伊吹(深谷第一)、③徳光哲太(川口北)④太田将哉(川越)、⑤梅本恒恭(坂戸西)、⑥馬淵 誉(伊奈学園)、⑦阿部 輝(越ヶ谷)、⑧山田龍惺(春日部)

※男女とも1、2位が全国選抜大会に出場

●第40回記念全国高等学校弓道選抜大会  
令和3年12月23日(木)～25日(土)

茨城県アダストリアみとアリーナ特設弓道場  
○男子団体／③川越(浜野隼輔、太田将哉、高河勇太、峯岸孝弥)

●第21回東日本高等学校弓道大会

令和4年3月19日(土)～21日(月)

山梨県小瀬スポーツ公園武道館特設弓道場

○女子団体5人制／②成徳深谷(上田優真、小島見規、大澤綾子、松本佳暖、大野朱緒、吉田夏瑛、大野 桃)来年度推薦出場

○男子団体5人制／③川越(浜野隼輔、太田将哉、金井塚渉、松本花陽、高河勇太、関口陽太、峯岸孝弥)



## 大会・射会入賞記録

●埼玉県高等学校弓道選手権大会兼全国高等学校弓道選抜大会 埼玉県予選

令和3年11月6日(土)、7日(日)、13日(土) 大宮公園弓道場

参加：男子138チーム、女子146チーム

○男子団体：川越高校、本庄高校 ○女子団体：坂戸西高校

参加：男子431名、女子448名

○男子個人：①加藤隼佑(秩父農工科学)、②前原伊吹(深谷第一)

○女子個人：①森山晴奏(浦和一女)、②森川樹梨(草加西)

\*以上の団体と個人が第40回全国高等学校弓道選抜大会に県代表として出場。

茨城県アダストリアみとアリーナ特設弓道場(令和3年12月23～25日)

●第44回埼弓連女子部弓道大会

令和3年11月23日(火) 埼玉県立武道館

参加：191名(三段以下49名、四・五段83名、称号者59名)、五段昇段者演武14名

○三段以下の部：①吉野美保(川越)②小山悦子(川越)③設楽貴代子(駒場)④濱田明美(久喜)⑤藤田直子(大宮)、○四・五段の部：①鈴木真由美(駒場)②川口えり子(川越)③星野久美子(大宮)④奥 加代子(新座)⑤篠原和子(日高)、○称号の部：①板橋武子(新座)②武政宏美(岩槻)③室町純子(志木)

④片岡一子（大宮）⑤大塚経子（大宮）

◎知事杯・技能賞／鈴木真由美（駒場）

●令和3年度第19回埼玉県武道大会【弓道の部】

令和3年12月5日（日） 埼玉県立武道館

参加者77名（一般女子・一般男子 選手各5名＋監督各1名、7支部計77名） 一人8射（四ツ矢2回）

○支部対抗の部：①県央支部、②西部支部、③中部支部、

○一般女子の部個人：①前澤梨江（春日部）②井上 薫（日高）③武政宏美（岩槻）

○一般男子の部個人：①宮崎正範（吉川）②長井敦史（熊谷公園）③大塚俊雄（志木）

●第40回全国高等学校弓道選抜大会

令和3年12月23日（木）～25日（土） 茨城県アダストリアみとアリーナ特設弓道場

○団体男子：3位 川越高校（浜野隼輔、太田将哉、高河勇太、峰岸孝弥、監督 新山哲史）

出場校 団体男子の部：本庄高校、団体女子の部：坂戸西高校（予選通過）

●令和4年埼玉県弓道連盟新年初射会

令和4年1月9日（日） 埼玉県立武道館 人数制限し一手祝射のみ。順位決定なし

●第69回全日本勤労者弓道選手権大会・埼玉県予選

令和4年3月6日（日） 埼玉県立武道館 参加者6チーム（18名）

①所沢市役所B（飯野良平、豊田佳隆、大竹伸一）②ホンダ埼玉B（桑原幸重、日木 豊、松久哲也）

③ボッシュA（島田 勲、山屋和広、嶋田 誠）

※第66回全国優勝により優先出場権を持つホンダ埼玉Aと、それ以外の上位2チーム（3位は補欠）は令和4年6月11日（土）～12日（日）に中央道場で行われる第69回全国勤労者弓道選手権大会に出場予定。

●令和3年度オンライン全国弓道大会

令和4年3月13日（日） 会場／大会本部：全日本弓道連盟事務所

競技実地場所：主催者と各参加団体間の取り決めによる全国各地弓道場

参加37都道府県（近的団体競技5人立ち各自4射）

○出場選手：長井敦史（熊谷公園）、武政宏美（岩槻）、新里 陵（久喜）、坂東 文（日高）、宮崎正範（吉川）



女子部弓道大会でのスナップ





## 秩 父 支 部

支部長 町田 文利

### 新年度に際して

支部長 町田文利

秩父地域もようやく暖かい陽気となり、休日には多くの観光客で賑わうようになってきました。

秩父支部では4月2日に定期総会が行われ新年度がスタートしました。今年度の事業は、基本的にはコロナ以前と同様の行事の実施を予定していますが、コロナ禍が過ぎ去った訳ではなく、依然として感染者数は高止まりであり今後再び増加する恐れもあるとのこと。気を引き締めて事業運営にあたらねばと思っています。

事業の実施方式も、極力感染リスクを低減する方法で行うこととし、支部カップ戦はしばらくの間は午前中に中学・高校の部、午後一般の部という2部制で実施することになりました。

コロナ禍の影響を受け、毎年4月29日に行われていた秩父神社奉納埼玉県下武道大会は中止になりました。ただし、伝統ある大会の今後の継続を趣旨として、各道の奉納演武と講演会を予定しています。毎年大会を楽しみにしていた皆様には大変残念ですが、来年こそは盛大に開催できるよう期待しましょう。

さて、現在世界中に衝撃を与えているのがロシアによるウクライナへの侵略戦争です。連日、悲惨な状況が報道されるのを見るにつけ心が痛みます。テレビのインタビューで「まさか21世紀にもなって侵略戦争が起こるとは…」という言葉が印象に残りました。歴史的、政治的、地政学的に複雑な背景があるにせよ一日も早い停戦・終結を祈るばかりです。最近の世の中は、何かにつけて対立的なものの方が多く感じます。向こう側とこちら側という構造は分かりやすい関係ですが、思いやる心が薄れれば対立が生まれ、対立は争いを生み出すという悪循環を起こしてしまいます。戦争も個人の争いもその根は同じ所にあると思います。平和な世の中でありたいと願いながら、自分たちには何ができるのか考えてしまいます。

### <競技・講習会>

#### ●第5回支部カップ戦

令和3年12月12日(日) 秩父市第1弓道場  
参加78名

中学生：①引間達也②伊藤紗良③引間晴哉  
高校女子：①澤登真鈴②井上奈乃③浅賀南星  
高校男子：①小池英仁②加藤隼佑③田島 尊  
一般女子：①齋藤公子②町田昭代③野原典子  
一般男子：①加藤佳宏②富田昌孝③清水慶一

#### ●第6回支部カップ戦

令和4年1月16日(日) 秩父市第1弓道場  
参加82名

中学生：①新井美里②伊藤紗良③引間晴哉  
高校女子：①吉野菜々海②麻美ゆりや  
③池田千尋  
高校男子：①若林吉宗②浅見駿介③金原 陸  
一般女子：①齋藤公子②福島輝代  
③井上美根子  
一般男子：①清水慶一②若林武司③町田文利

#### ●高校生講習会

令和4年3月21日(月) 秩父市第1弓道場  
参加20名 講師：秩父支部指導委員

4月の審査を受審する高校生を対象とした講習会を開催しました。

基本的な体配を中心に、普段の練習とは違った雰囲気戸惑いながらも、真剣に受講していました。



# 県北支部

支部長 高橋 久雄

## 令和4年度の方針

支部長 高橋久雄

今年も支部総会を人数制限して実施しました。そのため、支部の方針を紙面でもご紹介いたします。

コロナ禍で2年以上が経ちました。この間、マスク装着、手洗い、密閉／密集／密接の対策などの感染防止対策が施され、ワクチン接種も複数回実施されてきましたが、コロナ禍は、まだまだ続くものと思われまます。

しかし、これからはコロナ禍をただ恐れるだけでなく、正しく認識しコロナと共存する生活を目指すべき時期がきているようです。

弓道においても、令和4年度は全弓連や埼玉弓連では感染防止対策を施し、各事業をできるだけコロナ禍前に近づけた運営を予定しています。

県北支部でも、これまでの経験や埼玉弓連の対策を参考に、感染防止策をしっかりと施し、コロナ禍前に近づけた行事を考えています。

### ○講習会について

昨年同様に人数制限は行ないませんが、1日の講習会を予定します。課題は昼食方法ですが、マスクを外すため、感染防止の観点から仲間と集っての食事は止めて頂きます。県北支部では自家用車での集合が殆どのため、各自車内などでの個食を推奨します。

### ○射会について

令和4年度は可能な限り集合しての射会を実施したいと考えています。詳細はこれからですが、人数制限はできるだけ控え、事前の参加申込者を時間指定して、射会を目指します。この場合の役務（受付・進行・記録・的前）は、感染リスク削減のため、参加者の中から指名させて頂くことを検討しています。どのような方法が適しているのか更に検討し詰めていきたいと思ひます。

各行事がスムーズに運営できるよう、是非ご協力をお願いします。

## <競技・講習会>

●第3回支部カップ戦兼埼玉県武道大会選考会  
令和3年11月7日（日） 通信射会（各道場）  
参加者 117名

○団体：①鴻巣D（井上まり子、山下広二、設楽謙二）、②行田A（小堀充久、山田昇、樋口和広）、○個人：一部：①井上まり子（鴻巣）②設楽謙二（鴻巣）③青木豊（行田）④吉野奉子（熊谷）、二部：①山田昇（行田）②山下広二（鴻巣）③小堀充久（行田）④長井敦史（熊谷）⑤関口友樹（武道館）、三部：①大嶋道雄（熊谷）②福島文明（熊谷）③松澤尚一（本庄）④片岡眞利（深谷）⑤石井教子（本庄）

### ●松沢範士追悼射会

令和3年12月18-19日 熊谷運動公園弓道場  
参加者 195名（他支部：98名、県北支部85名、招待者等12名）

### ●支部初射会【中止】

### ●支部総会射会兼昇段昇格者祝射会

令和4年3月27日（日） 熊谷運動公園弓道場  
参加 31名（人数制限あり） 祝射のみ

### ●県北支部高校生大会

令和4年3月29日（火） 熊谷運動公園弓道場  
参加 281名（男子120名、女子161名）

男子優秀校：県立本庄高等学校、  
女子優秀校：東京成徳大学深谷高等学校  
○男子①岡田快翔②小林遥紀③持田圭佑④高橋優輔⑤大沢紘人、○女子①松本佳暖②大澤綾子③大野朱緒④河内優夏⑤梅野怜実

### ●第三回支部講習会

○初段、二段  
11月26日（金） 本庄市弓道場  
参加 5名 講師：岡芹喜行教士  
11月27日（土） 熊谷運動公園弓道場  
参加 23名 講師：飯島千代子範士  
○三段、四段  
11月30日（火） 熊谷運動公園弓道場  
参加 23名 講師：飯島千代子範士  
12月4日（土） 行田市弓道場  
参加 21名 講師：岡芹喜行教士

### ●高校生受審者講習会

令和4年3月20日（日） 熊谷運動公園、深谷BT、行田市の各弓道場 参加 149名 各道場で午前／午後に分け各回30人以下で実施  
講師：岡芹喜行、江田恵子、島村保男、松本信一郎、茂木昭夫、高橋久雄 各教士  
内容：令和4年度受審対象者の講習会

# 東 部 支 部

支部長 二見富士夫

## 組織的な知識の共有と伝承の大切さ

支部長 二見富士夫

2年前からの新型コロナウイルスの感染拡大による社会的な事業制限にも、徐々にではありますが黎明が見えてきた様です。

暗中模索的な令和2年度に対し、慎重に自問自答しながらの令和3年度だった気がします。

感染状況の変化による計画内容の直前見直しや中止もありましたが、役員や支部内会員の皆さんの協力と理解のお蔭で、何とか無事に遂行することができたと考えております。

特に、2月23日の東部支部として初めてとなる「コロナ対策を講じた上での2射場を使った審査会」の運営では、新しい課題に取り組む際の貴重な経験が積めたと考えております。

これらの事業を遂行する過程で痛感したのは、組織運営における適切な情報伝達の重要性和、属人的な経験を組織的な経験として整備することの重要性です。

日々の業務遂行に追われながら、「組織的な情報の共有」や「知識・経験の伝承」などを忘れていないかを自省する毎日が続いています。

### <競技・講習会>

#### ●県武道大会出場選手最終選考会

令和3年11月3日(水) 県立武道館弓道場  
参加49名 選考結果：監督：高野 聖、  
一般男子：高野 聖、大塚聡樹、齋藤幾央、  
川口 治、新里 陵  
一般女子：佐藤明子、石井千尋、前澤梨江、  
林 尚子、村上広子

#### ●東部支部納射会

令和3年12月19日(日) 県立武道館弓道場  
参加102名 分割開催(午前48名、午後54名)  
個人①木村鷹士郎、②綾戸岩雄、③小山 徹

#### ●東部支部初射会

令和4年1月16日(日) 県立武道館弓道場  
参加76名 分割開催(午前39名、午後37名)  
個人①木村鷹士郎、②細野隆志、③遠田弘志

#### ●県南・東部支部高校生大会 【中止】

令和4年3月19日(土) 大宮公園弓道場

#### ●支部総会射会

令和4年3月26日(土) 県立武道館弓道場  
参加66名 分割開催(午前34名、午後32名)  
個人①新島 崇、②村上龍男、③望月 衛

#### ●県南支部・東部支部 高校生弓道大会

令和4年3月28日(月) 大宮公園弓道場  
参加381名(男子：174名、女子：207名)  
男子団体：①栗橋北彩A ②伊奈学園C ③伊奈学園A  
女子団体：①草加東B ②伊奈学園A ③草加西C  
個人男子：①佐々木陽翔(栗橋北彩A)②中野拓海(春日部A)③大石 凌(伊奈学園A)  
個人女子：①武蔵穂乃花(栗橋北彩A)②川縁日奈子(鳩ヶ谷C)③渡辺麻由(春日部東A)

\*\*\*\*\*

#### ●第6回講習会(一般の部)

令和3年11月23日(祝・火) 大宮公園弓道場 参加22名

講師：根本武次郎教士、大上直美教士、村上節子教士

内容：審査方式にて一手行射、射法八節について講話、射技指導、仕上げ行射

#### ●第7回講習会(一般の部) 【中止】

令和4年2月11日(祝・金) 大宮公園弓道場

#### ●第8回講習会(高校の部) 【中止】

令和4年2月13日(日) 大宮公園弓道場

#### ●第8回講習会(高校の部)

令和4年3月30日(水) 大宮公園弓道場  
参加106名(3部制で開催)

講師：大上直美教士、村上節子教士、吉丸 寛  
錬士、富永剛志錬士

内容：審査方式の体配指導



画・松本 正

# 県南支部

支部長 鹿野 信恵

## 仲間と共に

蕨市弓道連盟 木本将史

私は高校で弓道部に所属し、2年半の部活動の引退後、2年ほどの空白を経て、1998年に蕨市弓道連盟に入会しました。入会して20数年になりますが、この2年は新型コロナウイルスの影響で環境が一変してしまいました。

特に2020年の4月から約3か月間道場が閉鎖され、全く稽古ができないという状況になりました。

当時は先行きが全く分からず再開できる見通しも立っていなかったため、とにかく離れの感覚はなくしたくないという思いから、自宅で高校生以来のゴム弓の稽古をしたり、今まであまり熱心に読んでこなかった教本や弓道関係の本を読んだり、この不自由な時間を過ごしていました。7月半ばから道場は再開し、厳しい人数制限を設けながらも弓を引くことができるようになり、弓が引ける喜びを強く感じたことを覚えています。

しかし、稽古は出来るようになっていても、感染防止対策で仲間たちと今までのように会話をすることも難しく、何となく閉塞感がありました。また、射会などの行事も開催出来なかったため、県南支部内の仲間とも会うことも出来ませんでした。

2021年になり、感染状況を見ながらですが、行事が少しずつ行われるようになり、弓友に会う機会が増えてきました。皆さんに久しぶりに会えるようになって思ったことは、自分はこの環境にいるから今まで弓道が続けてこられたんだな、ということです。弓を引くことはもちろん個人ですが、同じ趣味を持つ仲間と色々な話をし、また、一緒に切磋琢磨することが長く続けるためには必要だと思いました。新型コロナウイルスはまだ収束する気配はありませんし、まだしばらくは不自由な状況は続くかもしれません。ただ、今後もしっかりと目標を持って稽古に励み、みなさんと共に努力をしていきたいと思っています。

## <競技・講習会>

### ●令和3年度県南支部納射会

令和3年12月12日(日) 県営大宮公園弓道場  
参加90名

感染防止のため午前・午後2部制で実施

午前の部 ①藤井健人(松伏)②木本将史(蕨)  
③吉越眞之(草加)

午後の部 ①宮本明子(戸田)②藤田 領(松伏)  
③矢島美穂(川口)

### ●令和4年度県南支部初射会

令和4年1月16日(日) 県営大宮公園弓道場  
参加89名

感染防止のため午前・午後2部制で実施

午前の部 ①宮崎正範(吉川)②五十川実千恵  
(吉川)③松尾恒子(戸田)

金的 坂井 修(川口)

午後の部 ①中村 薫(吉川)②鈴木多恵子(吉川)  
③加藤睦正(戸田)

金的 古川 司(越谷)

### ●令和4年度県南支部総会射会

令和4年3月20日(日) 県営大宮公園弓道場  
参加56名

①小関一哉(越谷)②福島 實(越谷)③山本  
宏(越谷)

### ●第3回講習会 参・四段の部【中止】

### ●第3回講習会 弐段以下の部【中止】

### ●県南支部高校生講習会【中止】

### ●県南東部高校選手権

令和3年3月19日(土)、3月28日(月)

県営大宮公園弓道場 審判員：派遣中止

春先の気候を三寒四温と言いますが、本来は冬の季語です。今、季節は春たけなわですが、コロナ禍の波が次々と押し寄せ、終わりが見えず気分は冬のように籠ってしまいたくなります。そんな中でも徐々にイベントも開催され、人数制限や対策を施しながらも競技会が開かれるようになり、元の日々に戻ろうとしています。全てが元に戻ることは難しいかもしれませんが、いつかはかつてのように皆が集まって活気ある競技会や講習会等の行事が行えることを信じて、今できる範囲で稽古に励んでいきたいと思いません。冬の次は必ず春になりますから。

県南支部広報委員 五十川英俊

# 県 央 支 部

支部長 荒井 渉

## コロナ禍での弓道活動

副理事長 三池和博

令和3年度は、前年度に続きコロナ禍の年になりました。次々に新しい変異株が発生し、令和4年1月からのオミクロン株は、予想をはるかに超える猛威を振るっています。

県央支部では、約半数の競技会、講習会は中止せざるを得ない状況になり、多くの会員が大変に悔しく残念な思いを致しました。

また、恒例の、岩槻人形まつり弓道大会、及び大宮氷川神社の花しづめ奉納弓道大会を楽しみにしておりましたが、ともに昨年に続き行うことができませんでした。

そして高校生弓道部への影響も大きかったようです。青春時代の大切な思い出となるべきクラブ活動、及び弓道競技会が満足にできなかったのではないかと、危惧されます。

コロナの影響は、今なお日頃の弓道稽古にも影響を与えています。各弓道場では密を避けるために厳しい人数制限があり、十分な練習時間が取れない、と言う声が聞かれます。

大宮武道館で活動を行っている大宮弓武会では会員を15名程度のグループに分け、グループ毎に、練習日と時間を指定した限られた中での活動になっています。

実施できた競技会においても、全員が一堂に会しての実施は困難でした。従って、市民体育大会では通信大会の形式で行われました。県央支部には5つの弓道会がありますが、各道場においてリモート方式で実施した結果を集計して、総合順位を決定する方法でした。

また、納射会と初射会では、午前と午後に分けた2部制で競技会が行われました。

このように変則的な形にはなりましたが、コロナ禍の中で何とか、競技会を行うことができましたことは幸いであったと思っております。

令和4年度もコロナ禍が続くことが予想されておりますが、埼弓連、県央支部の会員の皆様とともに、不屈の精神と向上心を持って弓道活動を行って参りたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

## <競技・講習会>

### ●武道大会選手選考会

令和3年10月2日(土) 大宮武道館弓道場  
参加35名 代表10名選出

### ●さいたま市民体育大会(通信大会・一般の部)

令和3年10月17日(日) 各道場  
参加185名 ○団体①岩槻A(田辺智子・軽込次男・武政宏美)②岩槻B(石川芳男・町田智之・中村光広)③駒場C(加々美淳一・長安博之・廣川哲次)○個人男子①末吉成人(大宮)②長安博之(駒場)③石川芳男(岩槻)○個人女子①田辺智子(岩槻)②中島幸子(大宮)③鈴木真由美(駒場)

### ●さいたま市民体育大会(高校の部)

令和3年10月31日(日) 大宮公園弓道場および各学校弓道場 参加532名  
○男子団体①大宮東A(森田・福田・黒木)②埼玉栄A(橋本・西出・鈴木)③浦和学院D(阿部・山根・水本)○女子団体①与野A(佐藤・川島・田中)②大宮光陵A(海老原・中村・杉下)③大宮南A(斎藤・埴・横田)○個人男子①野中李十(浦和)②佐藤朱雀(大宮)③福田優輝(大宮東)○個人女子①川島涼花(与野)②埴 雪菜(大宮南)③松澤美風(浦和北)

### ●県央支部杯・市選手権大会

令和3年11月14日(日) 大宮公園弓道場  
参加77名 ○団体①小屋 裕(大宮)田中万理(記念)武政宏美(岩槻)②星野久美子(大宮)作野肇一(駒場)神田亜紀子(記念)③戸部美穂(駒場)荒井勝明(大宮)飯嶋 功(岩槻)○個人○称号者①武政宏美(岩槻)②加藤祐子(記念)③飯嶋 功(岩槻)○四五段①作野肇一(駒場)②濱井さやか(大宮)③戸部美穂(駒場)○参段以下①町田智之(岩槻)②田中万理(記念)③石田悦子(記念)

### ●さいたま市弓連創立20周年記念・納射会

令和3年12月11日(土) 大宮公園弓道場  
参加90名 ○称号者①廣松 弘(駒場)②武政宏美(岩槻)③中村光広(岩槻)○四五段①星 翼(駒場)②田辺智子(岩槻)③松浦敦子(駒場)○参段以下①照井恵里(大宮)②山口哲男(岩槻)③浅野正俊(大宮)

### ●県央支部初射会

令和4年1月10日(月) 大宮公園弓道場  
参加82名 ○称号者①上水流敦子(記念)②野崎秀子(大宮)③軽込次男(岩槻)○四五段①森山 剛(大宮)②亀沢光治(記念)③山崎美有紀(大宮)○参段以下①中島和枝(記念)②北島

康弘（記念）③佐藤恭子（大宮）

●春季高校生（中学生）大会

令和4年3月26日（土）女子、29日（火）男子  
大宮公園弓道場 参加 585名

○男子団体①与野 A（笹木・柴崎・関野）②大宮東 A（森田・古澤・中島）③浦和西 C（佐藤・太田・富張）○女子団体①浦和一女 A（森山・柳澤・鈴木）②与野 G（山口・小林・高橋）③市立浦和 A（小芦・畑瀬・村上）○個人男子①柳橋洗斗（埼玉栄）②柴崎 平（与野）③佐藤朱雀（大宮）○個人女子①森山晴奏（浦和一女）②糸川こころ（与野）③飯塚南乃（市立浦和）○中学生個人①三浦千佳（市立浦和中）②小川智穂（市立浦和中）藤原かのん（市立浦和中）

●五段講習会

令和3年12月4日（土） 県立武道館弓道場  
参加 29名 講師：飯島千代子範士、古泉利昭、清水繁子各教士 講習：一手行射、持的射礼

●参段以下講習会

令和4年1月15日（土） 県立武道館弓道場  
参加 午前 参段 29名、午後 式段以下 35名  
講師：岡田義助、北原理絵各教士  
講習内容：一手行射・講評・射技指導を兼ねた一手行射

●四段講習会

令和4年1月15日（土） 大宮公園弓道場  
参加 27名 講師：浅子好夫、片岡一子各教士  
講習内容：執弓の姿勢・歩き方・肌脱ぎ・襷さばきの研修、一手行射、射の講話、射技指導



大宮公園は桜の名所です

## 西部支部

支部長 池谷 茂

### 令和4年度コロナとの向き合い方！

支部長 池谷 茂

令和3年度の西部支部理事会、評議員会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、書面総会とさせていただきます、皆様のご協力によって無事すべての議案について可決されました。令和4年度も新型コロナウイルスと向き合いながら、事業計画を進めていきます。各委員長のご協力の基、コロナ感染対策は埼玉連ガイドラインに基づき万全の備えで臨む所存です。一つでも多く実施できるよう願っています。

西部支部執行部は三蜜を避け、昨年に引き続きオンラインによる会議を行い役員との交流が疎かにならないように心掛けたいと思っています。

長引く新型コロナウイルスと戦いに負けず、今後とも続くと覚悟を決め、役員並びに会員の皆様のご協力を賜り令和4年度スタートしました。引き続き埼玉連の諸先生方、今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

#### <競技・講習会>

●第31回西部支部高校弓道選手権大会（中部支部と合同）

令和3年10月30日（土）、31日（日）  
日高アリーナ弓道場

○団体男子 ①慶應義塾志木 D（立花・濱岡・西村）②慶應義塾志木 B（荒木・高柳・渡辺）

○団体女子 ①所沢北 C（小林・田所・西堀）

②所沢北 A（青木・堀田・田村）

○個人男子 ①高柳晴仁（慶應義塾志木）②西村裕一郎（慶應義塾志木）

○個人女子 ①西堀和呼（所沢北）②田所和沙子（所沢北）

令和3年11月4日（木）

各道場、練習施設（通信制大会）

○団体男子 ①所沢 B（伊藤・池西・中田）②所沢商業 A（本多・木村・浮田）

○個人男子 ①伊藤瑞生（所沢）②加々美 樹（所沢）

○個人女子 ①柴田祐奈（所沢）②中村夢華（所沢）

### ●納射会

令和3年12月11日(土)

所沢市民武道館弓道場 参加120名

○三段以下の部 ①長嶋悟志(三芳)②松尾朋美(朝霞)③仲野裕昭(所沢)

○四・五段の部 ①中村徳海(所沢)②佐久間一哲(新座)③篠原妃誉(ふじみ野)

○称号の部 ①平塚雄一(富士見)②藤澤和子(富士見)③出下晃一郎(朝霞)

### ●初射会【中止】

令和4年1月23日(日)所沢市民武道館弓道場

### ●総会射会【中止】

令和4年3月21日(日)所沢市民武道館弓道場

### ●第3回支部講習会(四段まで)【中止】

令和3年9月9日(木)・9月12日(日)

所沢市民武道館他2会場

### ●第4回支部講習会(四段まで)【中止】

令和4年1月30日(日)・2月3日(木)

所沢市民武道館他2会場

### ●支部指導者特別研修会(教士)【中止】

令和4年2月11日(金・祝)

ふじみ野市立スポーツセンター弓道場

### ●支部高校生春期講習会

令和4年3月24日(木)

所沢市民武道館弓道場

参加者30名(午前15名・午後15名)

講師:池谷 茂教士・斎藤和子教士

内容:令和4年度審査に向けての体配射技指導

### ●支部特別講習会

令和4年3月26日(土)・27日(日) 所沢

市民武道館弓道場 参加両日53名 対象五段

以上 講師:浅野有三教士八段

内容:両日共に午前・午後に分けての講習

一手行射・講評・射礼研修(射技指導あり)

以上講習会は、コロナ感染拡大で一部中止となりましたが、3月下旬の講習会は、コロナ対策を十分にとり、午前午後に分けて昼食をとらない形で行いました。来年度は一日での講習会が行われることを願っております。



朝霞市内間木公園弓道場

## 中 部 支 部

支部長 鷹田 富男

わが道場③

### われらの水富弓道場

狭山市弓道連盟会長 鈴木清美

#### ●はじめに

コロナ発生からすでに2年が過ぎようとしています。日々の活動状況の報告ができれば良いのですが、今しばらくはお預けとなりそうですので、狭山弓連の自己紹介をさせていただきます。

#### ●狭山市弓道連盟の成り立ち

狭山市弓道連盟は、昭和49年12月、水富公民館の敷地の一角に、地元の弓道家などの篤い思いが結実し弓道場が建設されたのを機に、「狭山市弓道会」として誕生しました。そして市内初の弓道活動を開始しました。

その後、昭和55年4月に狭山市体育協会に加盟し、昭和59年4月に「狭山市弓道連盟」に改称して現在に至っています。現在、100名近くの会員を抱えています。

当連盟の活動拠点は、水富公民館に併設された水富弓道場(3人立)で、利用日時は、原則公民館の開館と同様になっていますが、管理は任されていますので、弓道場には、入れ替わり立ち代わり会員が稽古に訪れます。手狭ですが、とても使い勝手の良い道場です。道場は自主管理ですので、日々の清掃に加えて年2回矢道の芝刈りや植栽の剪定などを行い、年末には会員総出で道場の掃除を行っています。



古色蒼然 趣のある水富道場

#### ●弓道大会など

当連盟の大事な活動の一つとなっています月例射会、市民弓道大会、近隣親善射会、初心者弓道教室などは、昭和58年4月に建設された狭山

市民総合体育館4階に設置されている智光山弓道場(5人立)で開催しています。市内2か所に弓道場があることも恵まれた環境、と言えます。

特に、初心者弓道教室は年2回(春は弓連、秋は市主催)開催し、多くの受講者を得て会員の拡大につながっています。しかしここ2年コロナの影響で実施していませんが、今年度は「弓道初心者一日体験会」という形で実施します。



智光山道場での月例射会

### ●現状と今後

コロナ禍の影響で2年ほど例年のような弓道活動は出来ませんでした。今年度は徐々に例年の活動に近づけて行くようにしたいと思えます。コロナ禍で弓を引けず大変な時期もありましたが、そんな中で会員への情報提供(共有)に大きな貢献をしたのが平成25年4月開設した狭山市弓道連盟のホームページでした。射会の予定やガイドラインの周知、また、支部や県連の情報も逐一掲載されますので本当に助かりました。これからもこれらのツールを使い会員の相互理解、親睦を深め狭山市弓道連盟のさらなる発展を目指していきます。



“水富富士” 冬の一定期間 一定時刻に安土に出現?

### <競技・講習会>

#### ●第26回中部・西部支部親善射会【中止】

令和3年8月8日(日)

日高アリーナ弓道場

#### ●第15回みのり会弓道大会【中止】

令和3年10月5日(火)

日高アリーナ弓道場

#### ●第21回西部地区高等学校弓道大会

兼 読売新聞さいたま支局長杯争奪戦

令和3年10月31日(日)

日高アリーナ弓道場

参加551名(男子251、女子300名)

男子の部団体①東農大三A(木村、荒川、池田)

②坂戸西C(宮下、川端、中嶋)③川越A(浜野、

太田、高河) 女子の部団体①坂戸西B(高坂、

橋爪、北島) ②入間向陽A(河内、齊藤、市川)

③武蔵越生A(根岸、奥富、萩野)

男子の部個人①荒川瑛大(東農大三)②木村龍

馬(東農大三)③太田将哉(川越)

女子の部個人①渡辺明日香(川越初雁) ②尾崎

日風(星野)③佐藤 椿(川越女子)

#### ●中部支部納射会

令和3年12月11日(日)

日高アリーナ弓道場 参加54名

四段までの部①谷川俊治(狭山)②榎本 博

(川越)③松井康久(鶴ヶ島)

五段以上の部①市川政子(入間)②西崎明伸

(入間)③坂東 文(日高)

#### ●中部支部初射会(昇段昇格者表彰)【中止】

令和4年1月22日(日)

日高アリーナ弓道場

#### ●第3回支部講習会(四段以下)【中止】

令和3年8月28日(土)

川越市運動公園弓道場

#### ●支部特別講習会(称号者)【中止】

令和3年10月3日(日)

川越市運動公園弓道場

#### ●第4回支部講習会(四段以下)【中止】

令和4年2月6日(日)

川越市運動公園弓道場



画・松本 正

過去の「埼玉連だより」から前号の続編を原文のまま再掲載します。  
参考にして頂けたら幸いです

埼玉連だより 23号  
(平成11年3月20日発行)より

## 弓具の取扱いと性能について(2)

範士八段 橋田榮次

### Ⅲ. 檠

#### 1. 檠の重要性

先生方は「弓を放すのではなく、離れるのだ」と指導されますが、「放さないのにどうして離れるのか」の説明はほとんどありません。

弓手は素手の中に弓を持ち、離れの際は緩みさえしなければよいのですが、勝手はかたい檠をかけ、弦枕にかかっている弦をはずさなければならぬのですから、放さずに離れるのは至難の業です。

放さず、緩まず、ぶっ切らずに離れるためには、檠と取懸けの研究は弓手手の内の数倍必要な筈です。

しかるに、講習会、研修会等での指導は弓手手の内の数分の一に過ぎず、檠についての指導は皆無に近い現状です。

初心者は一応どんな檠でも使いますが、檠に習って色々な癖が出て、一生苦労します。

私は最初に与えられた檠でその人の弓道人生の半ばが左右されるといっても過言ではないと確信しております。

弓道教室で貸与する檠、最初に関わせる檠は価格と体裁だけでなく、指導者が十分吟味して下さい。

私は弓道教室用に、大小5種類40個の檠を用意し、個人の檠を買うまで専用に使用させています。

#### 2. 手に合わせ方

##### (1) 大きさ形状

大きさについては、市販の大中小とその中間の5種類あれば9割以上の方は間に合うと思いますが、ぐんぐりとした手や細長い手について

は、一般に作られていないようです。

なお、特に問題なのは「下り」の大小です。(この点は無関心の先生が多いようです。)

下りが小さいと檠拇指を押し出して、檠拇指が長いと同様の結果となり、下がりが大きいと拇指のまたに隙間が出来て、檠枕の位置が遠いと同様の結果になります。

大きさを5種類、標準と太め、細め、下りの標準と大きめ・小さめを各1個用意しても45個となり、四つ檠と三つ檠、色2種を考えると180個必要となり、数多く用意するとなると、300個位必要になります。

しかしながら、これは実際上不可能なことで、すから標準型を大きく外れた形状の方は注文するより仕方ありません。

##### (2) イージーオーダーの勧め

手型を取って注文すると、一般に10万円以上になりますから、初心者に関わせるには無理があり、期間もかかります。

それ故、注文品は高級品との考えかたを改め、既製品と同程度の品で、寸法だけ手に合わせたものを3万円台程度で、比較的短納期で作れるよう希望いたします。

初心者用の半数余りを大小50程度の既製品で、残りをイージーオーダーで作れば、おおむね手にあった檠を供給することが出来ると思います。

また、このことは檠師の後継者養成にも役立つものと考えます。

##### (3) 手に合わせ方

良い檠は違和感がなく手が吸い込まれるようで、多少大きくても小さくても、ぴったりあった気がします。

悪い檠は、当たる所と隙間があつて、大きいのか小さいのか分からないものです。

#### 各部の見方は

##### ア. 指の長さ

拇指以外は、短いのは不可ですが3ミリや5ミリ長くても実害はありません。

檠拇指の内側は、指先がつかえるのは不可ですが、深くても差し支えありません。

檠拇指の外側の形状と長さは、拇指には関係なく、懸ける指との関係が重要で、正しい取り懸けをするのは、1・2ミリの長短が問題になります。

指が長いといわれて、拇指以外の指だけ短く直して売る弓具店があるようですが、2指(3指)が長い場合は、通常拇指も長い筈ですから、充分な調査もせず直すことは絶対に止めて下さい。

#### イ. 指の太さ

下碟を入れてやゝゆとりがある程度、特に拇指が細いのは良くありません。

#### ウ. 下がりの大小

各指の股は同じに当たらなければなりません。

拇指の股が狭いのに気づかない方が多いと思われるから充分気をつけてください。

#### エ. 碟拇指の角度

碟拇指の角度は3方向から見ることがありますが、最も分かりやすく、最も問題の多い点について説明します。

碟拇指の背面から見ると、拇指はやや左に曲がっており、その角度の大小は引き分け、離れに大きく影響します。

ただし、何度位がよいかは碟師によっても、先生方によっても意見が一致しないようですから、具体的な意見は遠慮させていただきますが、「弓道教本」の五重十文字は会で碟拇指が水平になることを求めている筈ですから、推定できるとおもいます。

四つ碟は三つ碟より2度程度多く曲がります。

近年の既製品には曲り過ぎるものが多く、驚くほど曲がったものも見受けられますから充分注意してください。

### 3. 碟の使い方

#### (1) 紐の締め方

「取懸けの形をして緩みなく締める」のが定説だった筈ですが、戦後いつの間にか「緩く、緩く」と指導されるようになりました。

紐は碟が抜け出さないためのものです。碟が抜け出せば、弓の力は全部碟拇指に懸けた指(多くの場合中指一本又は薬指一本)にかかります。先生方は手首の力を抜けと指導されますが、これで手首の力が抜けたら神業です。

紐は必ず手首のくるぶしの先(最も細い所)を強く締めつけない程度にしっかりと巻いて、弓の力の大部分を受けて下さい。

手に合った正しい碟なら、新碟でもそれで取懸けが出来る筈です。

ただし、実際には出来ない碟の方が多いよう

ですから、その場合は取懸けの形を作ってしっかりと巻いて下さい。

それ以上緩くしなければ引けない碟なら不良品です。

#### (2) 拇指を起す?

拇指を起せとの説と、起す必要はないとの説があります。

起す必要があるかないかは断定しかねますが、私は「左右対称の手の内」の考えから弓手拇指と同じに起しております。

いずれにしても、拇指を曲げて押えることは絶対にさけて下さい。

起す場合は次の点に注意して下さい。

ア. 碟(特に拇指の内面)によっては起こすことの出来ないものもあり、無理に起すと弊害を生じることもあります。

イ. 拇指を起すのは、離れに弦が碟拇指を起すのを補助するのが目的ですから、必ず拇指根から起して下さい。その結果拇指が反り、爪が当るのであって、拇指を反らせて爪を当てようとすると拇指根を固めて逆効果になります。

ウ. 大三では拇指根が伸びているのを確認する程度で余力を入れず、引くに従い弦の圧力が強くなるのに対抗して、なるべく自然に力が入るように心がけてください。

無理に力を入れると勝手拳全体を固くする弊害があります。

#### (3) 指の懸け方

碟拇指に指を懸けるには、碟の作り方(特に拇指の長さ、形状、角度等)、指導者により一定しませんから、具体的な説明は遠慮しますが次の点に注意して下さい。

ア. 浅く懸けるほど軽く離れると考えるのは大変な間違いです。

拇指根を止めるには一定の力(最低弓力の4分の1程度)は必要なので、指一本の先端で受けるとその指に大きな負担がかかり、手首全体にも不自然な力がかかりますから、決して軽妙な離れは出しません。

多くの書物には「第3(第1)関節を懸ける」とありますが、取懸けの形でなく、「力を関節で受ける」と解釈して頂くべきと考えます。「指先で受ける」と書いた書物は見当たりません。

イ. 懸けた指の力を抜くか、曲げた指を反対

に伸すのは、たとえ条件反射的に無意識であっても「放す」のであって、ぶっ切らない限り、肉眼で見えなくとも緩みを生じます。「離れる」ためには気合いの発動によって蹠指と懸けた指がすべるのでなければなりません。

そのためには「ギリ粉」をよくつけて、常に摩擦係数を一定にし、すべる寸前の状態で引かなければなりません。

取懸けをしても素引きは「離れない」練習をすることになりますから、私は厳禁しています。

#### (4) 四つ蹠は強弓用？

一般に四つ蹠は強い弓に適すると考える方が多いようです。

四つ蹠が作られたのは通し矢の如く強弓を数多く引くため、当時は蹠指を長めに作り、指三本懸けたものとおもわれます。

その後次第に軽い離れが求められるようになり、現在のように多くの方が指一本のみ懸ける状態では中指一本懸ける三つ蹠より薬指（中指より弱い）一本懸ける四つ蹠の方が強い弓が引けるとは考えられません。

蹠の作り方と使い方によるものです。ただし、取懸けの時四つ蹠は三つ蹠より蹠指が多く内に曲がりますから、弱弓には不向きです。

四つ蹠の新蹠を使いこなすには、最低 13 kg、なるべく 15 kg 以上が望ましいと思います。

#### (5) 汗に対する注意

陰干しをすることはよく知られており、乾燥剤を使用される方も居られます。

しかしながら、一度しみ込んだ汗の水分はとることが出来ても、その中の塩分を取ることは出来ません。皮の中に塩分が蓄積すると温度の高い日は空気中の水分を吸収してべとべとするのみならず、皮を固くしたり腐らせる原因になります。

なお、汗のしみた皮は針が通りませんから修理が極めて困難になります。乾かすのも大切ですが、しみ込ませないよう留意して下さい。

ア. 必要のない時は冬季でも極力蹠を外して下さい。

イ. 外した蹠は紐を巻いておくのが礼儀ですが、汗の出るときは下蹠を抜き取り、広げたままにしてください。

ウ. 汗も矢数も少ない方でも、夏季は毎日下蹠を取り替えるとともに、必ず自宅に持ち帰っ

て広げたままにしてください。

エ. 汗の多い方は毎日 3 枚位の下蹠を用意

#### (6) 修理について

ア. 不具合の点と修理は早めに蹠師に連絡

イ. 止むをえず自分で修理する場合は、接着材は木工用ボンドを使い、強力接着剤は不使用

ウ. 弦枕に鮫皮を貼るのには賛成しかねる。

#### 注

文中「下り」（さがり）の記述がありますが、「下り」とは図の間隔になります。

（橋田榮次著：「現代の弓道」より）



（編集部）

#### 編集後記 69 号

昨今、コロナ禍の話題や、ウクライナの悲惨な話題などで、世相が暗く感じます。

私もコロナ禍、何故弓道するのか考えたりして、本棚から松井巖先生の「道の弓」を引っ張り出し再度読み直しました。詳細は控えますが、この本では弓を学ぶベースになることが初心者にもわかり易く記述され、弓道への思いを新たにさせて貰えました。

皆様にも是非お薦めしたい一冊ですが、既に販売されていないようなことも伺いました。

令和 4 年度、気持ちを新たに前へ進みたいと思います。

編集長 高橋久雄